



福田 よしお 県政レポート



編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知郡東郷町白鳥二丁目 4-7

TEL: 0561-39-4407 FAX: 0561-39-4408 e-mail: fukuta440@yahoo.co.jp

ホームページ・Facebook にも活動の様子がのせてあります。ぜひご覧ください

愛知県議会 9 月定例議会報告（会期：9 月 21 日～10 月 14 日）

皆様、こんにちは。日頃は、福田よしおの活動に格別のご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本年 4 月に熊本地震が発生し、甚大な被害が発生しました。また、全国各地で地震が多発し、10 月には鳥取で震度 6 弱を記録する内陸地震が起き、現在も各地で地震や余震が続いています。さらに、台風 10 号を始め相次ぐ台風の上陸と豪雨により北海道から九州まで全国各地で被害が発生しました。

このたびの災害により、お亡くなりになられました方々にお悔やみと、被害に遭われました皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を願うところでございます。

さて、平成 28 年 9 月定例愛知県議会は 9 月 21 日から 10 月 14 日まで 24 日間の会期で、知事より補正予算関係 2 件、条例関係 10 件、その他の議案 23 件、計 35 件の提案があり審議を行いました。また、平成 27 年度決算（一般会計、特別会計及び公営企業会計）は、それぞれ決算特別委員会に付託され、引き続き審査を行っています。また、私は 9 月 29 日、本会議において「大規模災害時の広域避難」や「尾張東部地域の都市計画道路」など愛知県の防災体制や地域の道路整備などについて一般質問を行いましたので、特に重要な議案と一般質問の内容等について報告させていただきます。

一方、国政は、わが民進党の代表が蓮舫氏に代わり、次の衆議院議員選挙に向け日本の平和と国民の幸せを実現するために、国会議員のみならず地方議員も一体となって取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

おわりに寒暖の差が大きくなり、また、日に日に寒くなりますので、くれぐれもご自愛のうえ、地域の安心安全にお力添え賜り、災害に強い街づくりが推進できますようお願いを申し上げます。

手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の促進に関する条例を制定

この条例は、障害の有無に関わらず分け隔てなくお互いに人格と個人を尊重し合うことが重要との考えから、県民の皆さんや事業者の皆さんのご理解とご協力をいただき、障害の特性に応じたコミュニケーション手段（手話、要約筆記、点字、触覚を使う意思疎通、筆談、代筆、音訳、平易な言葉、代読、実物又は絵図の提示、重度障害者用意思伝達装置など）を普及し、促進することを目指します。あらゆる場面で、障害者の皆さんが楽しく社会生活を営むことができるように、コミュニケーション手段を整えて利用できる環境にしましょう。



宜しくお願いします！

愛知警察署建替え工事始まる！ 平成 30 年 2 月完成（予定）

愛知警察署庁舎の工事請負契約締結を議決しました。愛知警察署は現在の庁舎の南側に新庁舎を建設したのち、現在の庁舎を解体して駐車場とするもので、概要は次のとおりです。



場所 愛知郡東郷町白鳥二丁目 1 番地 8 号

規模 地上 5 階建て 延べ面積 6,559.52 ㎡

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造



平成 28 年 9 月 29 日 午後 1 時から本会議で 「災害に強い街づくり」を推進するため一般質問に立ちました

（質問要旨） 1 大規模災害時の広域避難について

近年、地震や豪雨洪水など災害が大規模かつ複雑化している。災害対策基本法により「防災」は市町村の責務であるが、より広域的な防災体制が必要となっている。そこで、過去の災害を参考に近隣の市町村への避難や県外への避難（広域避難）の必要性について提言し、また、**高齢者や身体障害者など「要配慮者」の福祉避難所**についても広域的な避難が必要なことから、県の取り組みについて伺う。また、避難準備情報、避難勧告、避難指示など避難に関する情報が分かり難いが、県として県民に対してどのように周知しているのか、また、今後どのように対応するのか伺う。

（防災局長答弁要旨）

平成 24 年 6 月の災害対策基本法の一部改正を受け、平成 25 年 6 月に愛知県地域防災計画において、広域一時滞在いわゆる広域避難に関する市町村や県のとるべき措置を明記した。これを受け、被災された方々が県内の他の市町村へ避難する場合の市町村間の協議の支援や県外の区域に避難する場合の他の都道府県と協議を実施するため、愛知県災害対策本部に置かれる災害情報センターにプロジェクトチームとして広域避難チームを設けることとした。また、本県と三重県、岐阜県及び名古屋市で設置した「東海三県一市・木曽三川下流域等における防災対策連絡会議」において、広域避難対策を推進する取組方向を示す「東海三県一市・県境を越える広域避難調整方針」を平成 27 年 3 月に策定した。本年 11 月に、この方針を検証するため、弥富市と共催で行う津波・地震防災訓練において、**弥富市から岐阜県の避難所へ避難する「広域避難訓練」**を行うこととしており、その検証結果については、愛知県沿岸市町村等津波対策推進協議会で市町村に説明し、情報の共有を図って行く。

一方、国においては、本年 9 月に中央防災会議の防災対策実行会議に設置された「洪水・高潮氾濫からの大規模・広域避難検討ワーキンググループ」において、広域避難に関する現行制度の改善の必要性等を検討しており、平成 29 年には、方向性が示される予定なので、この動きにも注視し、広域避難が円滑に実施されるよう取組を進めて行く。



次に市町村長が発令する避難準備情報などの避難情報が迅速かつ的確に発令されることが重要である。そのため、本県では、平時から名古屋地方気象台と連携して、市町村に県職員を派遣し、避難勧告の判断基準の設定や見直しを支援している。また、県民の皆様が災害時の気象情報や避難情報を的確に理解していただけるよう、毎年、名古屋地方気象台と共催で「防災講演会あいち」において、気象情報や避難情報の説明を行うなど、講演会や研修会の機会を活用するとともに、啓発資料、ホームページなどを用いて、啓発活動を進め、県民の皆様の迅速な避難につながるよう取り組んで行く。なお、要配慮者の方々には早期避難をしていただくことが重要であり、本県が作成した「市町村のための災害時要配慮者支援体制構築マニュアル」において避難準備情報の段階で避難することを明記し、市町村にお示しして周知徹底に努めている。また、先の台風第 10 号で高齢者施設の入居者の避難が遅れ、多くの方がお亡くなりになられた事態を受け、県から市町村及び社会福祉施設等に対して、要配慮者の早期避難を改めて注意喚起をしている。

（質問要旨） 2 緊急消防援助隊について

南海トラフ地震など大規模災害に備え、その被害想定などから、緊急消防援助隊車両及び整備の充実強化と県として必要な消防用車両や資機材を県内の消防本部に「無償で配備する制度の創設」なども必要と考えるが、今後どのように取り組まれるのか伺う。

（防災局長答弁要旨）

各消防本部が保有する消防ポンプ自動車等の車両や空気呼吸器等の資機材は、国が定める「消防力の整備指針」に基づき、市町村等が費用を負担して整備を進めている。また、緊急消防援助隊として必要な車両、資機材



全地形対応車「レッド・サラマダー」

等については、消防組織法に基づいて、国庫補助により、市町村等が整備を進めているほか、市町村等が単独で整備・保有することが非効率な特殊な車両、資機材等は、国が整備し市町村等は無償で使用させている。したがって、緊急消防援助隊愛知県大隊として必要な車両、資機材等の整備は国の支援のもとに市町村等が進めるべきものである。国の支援により適切な整備が進められるように、国に働き掛けを行なう。

(質問要旨) 3 名古屋市と豊田市を結ぶ都市計画道路の整備と今後の見通しについて



名古屋市と豊田市を結ぶ都市計画道路のうち名古屋春木線、名古屋三好線、都市計画道路名古屋瀬戸道路の側道である岩作諸輪線の整備と今後の見通しについて伺う。

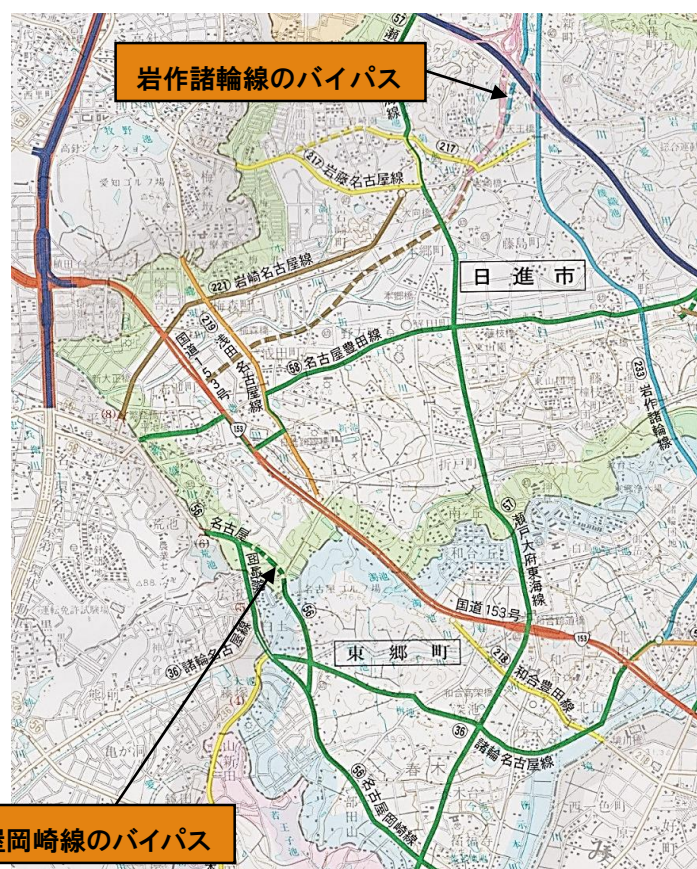
(建設部長答弁要旨)

名古屋市に隣接する日進市や東郷町を含む尾張東部地域では、計画的に進められている土地区画整理事業等により今後増加が見込まれる交通の円滑化を図るため、市街地の形成と連携した都市計画道路の整備を進めている。始めに、都市計画道路名古屋春木線は、東郷町内では、東郷中央土地区画整理事業と

連携して、区画整理区域を東西に貫く都市計画道路名古屋春木線の整備を進めている。このうち、まずは区画整理区域の西側から現道諸輪名古屋線に接続する約0.4kmを諸輪名古屋線のバイパスとして、区画整理事業の進捗に合わせて優先的に整備する。昨年度に、地元説明会及び用地測量を実施し、今年度は、用地買収に着手していく。また、区画整理区域内の約0.8kmについては、土地区画整理組合が整備を進め、県がその費用を補助して行く。

次に、都市計画道路名古屋三好線については、名古屋市と東郷町の境に位置し、主要渋滞箇所となっている名古屋岡崎線の白土西交差点などの渋滞緩和を図るために、当該交差点を回避する都市計画道路名古屋三好線の未整備区間約0.8kmを名古屋岡崎線のバイパスとして整備している。このバイパスの整備により、隣接する日進赤池箕ノ手土地区画整理区域周辺についても交通の円滑化が図られるものと考えている。昨年度末までに用地進捗率が約8割に達したので、引き続き用地買収を進め、まとまった用地が確保できたところから工事に着手する。次に、都市計画道路名古屋瀬戸道路の側道は、日進竹の山南部特定土地区画整理区域内を南北に縦貫する瀬戸大府東海線に並行して、都市計画道路名古屋瀬戸道路の側道を岩作諸輪線のバイパスとして整備を進めている。この側道は、平成16年度までに東名高速道路の北側が整備済みとなっており、その区間につづけて高速道路の下を横断ボックスで抜く、約1.1kmの側道を整備することにより、瀬戸大府東海線につながる新たなルートができることから、日進市北部の交通の円滑化が図られるものとする。側道整備に必要な事業用地は、すでに確保しているので、平成26年度より、南側から工事に着手し、今年度も引き続き、事業進捗に努めて行く。

今後とも、尾張東部地域における街づくりや交通需要に的確に対応するため、名古屋市と豊田市を結ぶ、これらの都市計画道路の整備にしっかりと取り組んで行く。



福田よしおが「答弁に対する要望と今後の取組み」を述べました。

治水、耐震など防災対策は、多大な費用と時間がかかりますが、広域避難計画の策定は関係自治体とお互いに助け合う「自治体の共助・公助」であり、関係自治体との協議により策定することから、対費用効果の高い防災対策と言えます。高齢者や障害者など要配慮者や県民の命と暮らしを守るため、早期に愛知県モデル「広域避難計画」を策定して頂きたい。それには、大村知事のリーダーシップで岐阜県、三重県、静岡県、長野県などと防災広域連携されますよう要望します。また、緊急消防援助隊愛知県大隊ですが、国の制度に準じて愛知県の被害想定から、県民を守るため必要な特殊な車両や資機材は、ぜひとも県で購入して無償で配備されますよう強く要望します。

最後に、尾張東部地域の都市計画道路ですが、名古屋春木線は区画整理事業に併せて、日進市区間、みよし市ま

での区画について強く要望します。根本的には現在、暫定4車線で供用している国道153号の6車線化や名古屋豊田道路の実現が必要です。リニア中央新幹線開通までに名古屋市と豊田市の間に位置する自治体も名古屋駅まで40分以内を実現するためにも、愛知県として特段のご支援いただきますようお願いして質問を終わりました。

文教委員会より 平成29年度から「公立高校の入試（全日制）が新しくなります」

概要 推薦入試と一般選抜が同じ日程（3月上旬）で実施されますが一般選抜は2校まで出願できます。

- 1 愛知県立愛知総合工科高等学校（名古屋市千種区。平成28年4月開校）専攻科（2年）の運営が、学校法人名城大学に決まりました。企業、大学等と連携して、高度で実践的な知識、技術の習得めざし、宇宙航空機産業を始め新しい産業の人材育成を推進します。
- 2 二部制単位制の定時制（ステップアップハイスクール）として「愛知県立城北つばさ高等学校」（名古屋市北区）が平成29年4月に開校します。なお、愛知県立愛知工業高等学校が愛知県立城北つばさ高等学校となります。
- 3 愛知県教育委員を選任しました。（元豊明市立栄小学校長 新海弘康 氏）

トピックス

「次は愛知か！南海トラフ地震に備えましょう。」耐震化、家具の固定、備蓄など

- ・2017年ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会の愛知県開催が要請されました。
- ・第70回全国植樹祭（2019年）が尾張旭市にある愛知県森林公園で開催が決定しました。
- ・2023年技能五輪国際大会の招致をめざします。「モノづくり王国あいち」として全国大会も開催します。
- ・第20回アジア競技大会（2026年愛知県・名古屋市共催）が決定しました。



5/17「シルバーホームまきば」で
防災講話と県政報告



5/28 小学校運動会



6/5 東郷町じどうかん
こどもまつり

活動 Photo



7月下旬～8月中旬
各地区盆踊り大会



6/22 日進市安全安心
推進大会



7/3 日進市三本木
区民ボウリング大会



9月各地区敬老祝賀会



9/18 にっしん夢まつり



9/25 こどもエコぱんぱく
in 東郷



10/21 日進市戦没者追悼式



10/8 愛知県茶会



福田よしお公式WEBサイトはこちらから



みてね

